



2023年9月13日

各位

会社名 株式会社鳥貴族ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 CEO 大倉 忠司
(コード番号：3193 東証プライム)
問合わせ先 執行役員経営管理部部長 小畑 博嗣
(TEL. 06-6562-5333)

貸倒引当金繰入額（個別）及び減損損失（連結）の計上並びに 通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2023年7月期累計期間の決算において、貸倒引当金繰入額（個別）及び減損損失（連結）を計上いたしました。また、通期連結業績予想と実績について差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 貸倒引当金繰入額（個別）の計上について

当社の連結子会社である株式会社TORIKI BURGERへの債権について、同社の業績等を勘案し、回収可能性を検討した結果、貸倒引当金繰入額403,754千円を計上いたしました。なお、当該費用につきましては、連結財務諸表上では全額消去されるため連結業績への影響はありません。

2. 減損損失（連結）の計上について

一部店舗において収益性の低下がみられたため「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、固定資産（店舗設備等）の減損損失268,608千円を計上いたしました。

3. 2023年7月期通期業績の予想と実績との差異（2022年8月1日～2023年7月31日）

(1) 2023年7月期通期業績の予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	33,072	1,220	1,221	467	40.35
当期実績 (B)	33,449	1,417	1,429	616	53.18
増減額 (B-A)	376	196	207	148	
増減率 (%)	1.1	16.1	17.0	31.8	
(参考) 前期実績	20,288	△2,433	1,968	1,134	97.88

(2) 差異が生じた理由

主軸である鳥貴族の売上高が堅調に推移するとともに採算管理を徹底した結果、営業利益及び経常利益が前回予想を上回りました。また、上記2.の減損損失を計上しましたが、概ね想定通りであったため親会社株主に帰属する当期純利益についても前回予想を上回ることとなりました。

以上